

【四字熟語】30 期秋季問題 資料集

- 曖昧模糊（あいまいもこ）はっきりせず、ぼんやりしているさま。
- 阿鼻叫喚（あびきょうかん）悲惨な状況に陥り、混乱して泣き叫ぶこと。
- 一衣帯水（いちいたいすい）両者の間に一筋の細い川ほどの狭い隔たりがあるだけで、きわめて近接しているたとえ
- 一騎当千（いっきとうせん）人並みはずれた能力や経験などのたとえ。
- 一子相伝（いっしそうでん）学問や技芸などの秘伝や奥義を、自分の子供の一人だけに伝えて、他には秘密にして漏らさないこと。
- 因果応報（いんがおうほう）人は良い行いをすればよい報いがあり、悪い行いをすれば悪い報いがあるということ。
- 隱忍自重（いんにんじちょう）怒りや苦しみをじっと抑えて外に表さず、軽はずみな行動をしないこと。
- 海千山千（うみせんやません）世間の経験を多く積み、物事の裏表を知り抜いていて 悪賢いこと。
- 雲外蒼天（うんがいそうてん）困難を乗り越え、努力して克服すれば 快い青空が望める
- 温故知新（おんこちしん）過去の事柄を研究して、現在の事態に対処すること。
- 懷古趣味（かいこしゅみ）古いものに対する趣味
- 夏炉冬扇（かろうとうせん）時期はずれで役に立たない物事のたとえ。
- 曲学阿世（きょくがくあせい）学問上の真理をまげて、世間や権力者の気に入るような言動をすること
- 九牛一毛（きゅうぎゅういちもう）きわめて些細 ささい で取るに足りないことのたとえ。
- 金城湯池（きんじょうとうち）守りが非常に固く、攻めるのが難しい城。
- 群雄割拠（ぐんゆうかっきょ）多くの英雄が各地で勢力を振るい、互いに対立し合うこと。
- 喧々囂々（けんけんごうごう）大勢の人達が勝手にしゃべりたてて、がやがやと騒がしいようす。
- 山紫水明（さんしすいめい）自然の風景が清浄で美しいこと。
- 三位一体（さんみいったい）三者が心を合わせて一つになること。
- 志操堅固（しそうけんご）志や考え・主義などを堅く守り、何があっても変えないさま。
- 七難八苦（しちなんはっく）多くの苦難が重なること。
- 四分五裂（しぶんごれつ）ばらばらになってしまうこと。
- 周章狼狽（しゅうしょうろうばい）大いにあわてること。非常にあわてうろたえること。
- 人権蹂躪（じんけんじゅうりん）人権を踏みにじること。
- 人品骨柄（しんぴんこつがら）人柄や品格、容姿や身なりのこと。
- 生殺与奪（せいさつよだつ）生かすも殺すも、与えることも奪うことも自分の思うままになること

絶体絶命（ぜったいぜつめい）追いつめられ、切羽詰まったさま。

浅学非才（せんがくひさい）学問や知識が浅く未熟で、才能が欠けていること。

千載一遇（せんざいいちぐう）滅多に訪れそうもないよい機会。

千変万化（せんぺんばんか）様々に変化すること

大言壮語（たいげんそうご）実力不相応な大きなことを言うこと。また、その言葉。

多士濟々（たしせいせい）すぐれた人物が数多くいること。

談論風発（だんろんふうはつ）盛んに語り論ずること。

沈思黙考（ちんしもっこう）黙ってじっくりと深く物事を考え込むこと。

手練手管（てれんてくだ）あの手この手と、巧みに人をだます手段や方法。

当意即妙（とういそくみょう）即座に、場に適った機転を利かせること。

同工異曲（どうこういきょく）見た目は異なるが、内容は似たり寄ったりであること。

東奔西走（とうほんせいそう）あちこち忙しく走りまわること。

日進月歩（にっしんげっぽ）日に日に、絶えず進歩すること。

馬耳東風（ばじとうふう）他人の意見や批評に注意を払わず、聞き流すこと。

八面六臂（はちめんろっぴ）多方面でめざましい活躍をすることのたとえ。

人身御供（ひとみごくう）集団または特定の個人の利益のために、ある個人を犠牲にすること。

百家争鳴（ひゃっかそうめい）いろいろな立場にある人が自由に議論をたたかわせること。

百鬼夜行（ひゃっきやこう）また、多くの人が怪しく醜い行為をすること。

不易流行（ふえきりゅうこう）いつまでも変わらない本質的な物の中にも、新しさを取り入れて変化してゆくこと

不俱戴天（ふぐたいてん）一緒にこの世には生きられないというくらいに恨みや憎しみが深いこと。

夫唱婦随（ふしょうふずい）夫婦の仲が非常によいこと。

付和雷同（ふわらいどう）自分にしっかりとした考えがなく、他人の言動にすぐ同調すること。

文人墨客（ぶんじんぼっかく）詩文・書画などの風雅の道に携わる人

暴虎馮河（ぼうこひょうが）血気にはやって向こう見ずなことをすること。無謀な行為。

無我夢中（むがむちゅう）ある事にすっかり心を奪われて、我を忘れてしまうさま。

孟母三遷（もうぼさんせん）子供の教育には環境を選ぶことが大切であるという教え

夜郎自大（やろうじだい）自分の力量を知らずに、いばっている者のたとえ。

有職故実（ゆうそくこじつ）朝廷や公家、武家の昔からの行事や法令・儀式・制度

羊頭狗肉（やうとうくにく）見かけや表面と、実際・実質とが一致しないたとえ。

竜頭蛇尾（りゅうとうだび）初めは勢いがよいが、終わりのほうになると振るわなくなる

和洋折衷（わようせつちゅう）日本風と西洋風の様式を、程よく取り混ぜること。